ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員　中野あきと・事務所ニュース

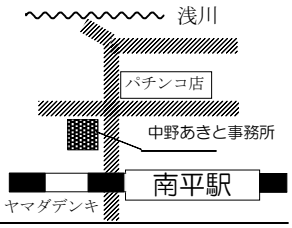
みどりと清流

中野あきと事務所
〒191-0041　日野市南平6-25-1
南平ビル１階
TEL・FAX　042-599-3350
発行責任者　小林　進

第140号
2014年
1月発行

しんぶん赤旗
日刊紙１ヶ月 3400円
日曜版１ヶ月　800円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



安倍政権の暴走ストップ！

安心と希望の政治元年に！

新しい年が始まりました。昨年までの様々な思いを抱えながらも、新たな決意や抱負をもって新年を迎えられたことと思います。

今年は、年始早々から都知事選（２月９日投票）と日野市議選（２月16日投票）が控えています。この重要な政治戦への決意も含め、ごあいさつをさせていただきます。

昨年を振り返って～「危機」とともに「希望」を広げた一年

昨年の政治を振り返ると、やっぱり特定秘密保護法の強行に示される安倍政権の暴走が極まった一年だったと言えると思います。時の政権のありように、国民の中にいい知れぬ不安と警戒心をこれほど広げている政治も、これまでなかったのではと思うほどです。

しかしその一方で、政治を動かしている社会や様々な人々の動きに目を向ければ、そこには、この暴走に対峙し、新しい社会をつくろうという多様な営みや運動が生まれ、広がっていることを確認できると思います。

原発ゼロをめざして毎週金曜日続けられている首相官邸前デモや、それに連帯した全国の動き、ＴＰＰ反対の全国的たたかい、秘密保護法をめぐって広がっている、国民的とも言える懸念と反対の世論やたたかい・・・。また、そうした人々と誠実に共同する姿への信頼や共感が広がる中で、都議選や参院選で日本共産党が躍進するという結果も生まれました。

もちろん安倍政権の暴走による「危機」は、いささかも軽視できませんが、暴走をストップさせ、新しい社会をつくる芽が社会のなかに豊かに育ってきている、「希望」が広がっていることを確信にしながら、今年一年、元気にがんばりたいと思っています。

中野あきと

２面へ続く

新年、高幡不動駅前で訴える中野市議
吉良よし子参議院議員とガッチリ握手（１月１日）

東京都知事選

宇都宮健児氏が出馬を表明

猪瀬前知事が辞職したことに伴う東京都知事選に（１月２３日告示、２月９日投票）、宇都宮健児氏が立候補を表明。

世界一暮らしやすい東京を目指す。環境に配慮したシンプルなオリンピックをなどの政策を発表。

宇都宮健児氏
1946年　愛媛県生まれ
1968年　東大在学中に司法試験合格。弁護士。
サラ金、ヤミ金融による多重債務問題、消費者金融問題に取り組み、被害者救済に尽力。日本弁護士連合会（日弁連）前会長。

短信

南平7丁目の北野街道沿いに中野あきと事務所が生まれ12年余。市民に開かれた場所が欲しい、活動の拠点が必要という中野議員の思いを受けて開設されました。このたび道路拡幅に伴い、6丁目に移転。新事務所は南平駅北側にあるパチンコ店の筋向いです▼明日の食事代にも事欠き切羽詰まった方、一方的に解雇され住み込みの社宅を追われた方など、場所がら事務所の看板を見て飛び込んでこられる方もあって、手前味噌ですが灯台のような存在でした▼日本共産党は政党助成金など受け取らない政党です。地元は地元で自前で運営されていて、事務所の維持も並ではありません。中野議員、地元の党員・支持者など、党内外の大勢の援助で成り立っています▼年明けと同時に新事務所も始動。消費税増税、秘密保護法、靖国参拝強行など政治はけた外れの暴走ぶり。猪瀬辞任で徳洲会疑惑はチョン。こんな与党が牛耳る都政はもう真っ平です。「住民合意」はどこ吹く風のごみ問題や、20億円道路を巨大物流センターにプレゼントする「オール与党」市政のストップなど、新事務所を拠点にがんばります。ぜひお気軽にお立ち寄りを（K）

1面から

都知事選挙～疑惑の解明は、都民生活やオリンピックの成功にとっても必要不可欠

都知事選挙は、当然、都政のあり方と進路を決めるものですが、今度の都知事選挙というのは、それだけにとどまらない特別の意義をもつものだと感じています。それは、安倍政権の暴走政治への審判という性格も合わせもつことになるということです。

都政のあり方では、都知事選の発端となった猪瀬都知事(当時)の５０００万円のヤミ献金疑惑に対し、新しい都政がどう向き合うのかがするどく問われる大問題だと感じています。というのは、都民の暮らしや東京オリンピックの成功にとっても必要不可欠だと思うからです。今回の疑惑それ自体も重大ですが、同時にこれは都政をめぐる利権構造の氷山の一角に過ぎないという指摘がされています。東京オリンピックが利権の食い物にされることは、あってはならないことです。

それにしても自民党や公明党、民主党の態度は本当にひどいものだと思います。猪瀬氏が辞任するやいないや、百条委員会の設置による徹底解明を放棄し、「知名度だ」とか「勝てる人を」などと候補者選びに明け暮れ、憤りを覚えます。

私たちは、先日立候補を表明した宇都宮健児さんを全面的に推薦してたたかうことを決めました。宇都宮さんは、百条委員会の設置を要請し、徹底解明を行い、利権との決別でクリーンな都政を実現しよう、その中で被災地のみなさんにも歓迎されるようなコンパクトな東京オリンピックを成功させようと訴えています。ぜひ力を合わせましょう。

日野市議選～安心と希望のまち・日野を！「何よりも、市民生活」をかかげて！

そしていよいよ市議選です。いま日野市政は、まだ新しい市長になって間もないというのに、市民の信頼を損なうような強引な政治をすすめています。ごみ処理広域化へ向けた準備経費の予算化、たかはた保育園の廃止、東芝跡地の巨大物流センター建設問題等、住民や自治会の反対の声を押しつぶして強行しています。ごみ広域化問題においては、「地元住民の理解が前提」と市長自ら地元自治会に約束していたにもかかわらずの強行ですから、今後、市長が市民に何を言っても信用されなくなる、市民全体からの信頼も失われるような、本当に許されない暴走です。

さらに言えば、本来こうした暴走を止めるべき議会がその機能を果たさず、機能不全も本当に深刻です。私は、本会議で他党派の議員のみなさんに、「いま問われているのは、広域化の是非ではない。市民との信頼関係の保持という行政の節度の問題だ。節度を失った強引なやり方に対し、議会としてストップをかけ見識を示そう」と呼びかけましたが、自民、民主、公明、ネットなどの議員のみなさんはあっさり認めてしまうありさまでした

今度の政治戦では、市政の暴走にストップをかけるとともに、こうした議会のあり方が問われています。。

また、市民の暮らしに重大な影響を与える市の計画について、その是非を問う政治戦にしていきたいと思っています。一言で言えば、このご時世に、市民のみなさんにはさらなる我慢を強いる負担増計画を押しつける一方で、巨大物流センターのために、20億円以上もかかる新規道路建設を前倒ししてすすめるという計画の是非についてです。何のための、誰のための市政なのか、この逆立ち、暴走を止める政治戦にしたいと決意しています。

最後になりますが、この数年間、本当にたくさんの、切実な生活上の悩み、相談を伺ってきました。容易に解決できない問題もありますが、「とにかくできることを最後まで」と努めてきました。

「何よりも、市民生活」・・・この言葉は、そうした取り組みを通じて得た、私の実感です。ありていで手垢のついた言葉かも知れませんが、大事にして、肝に命じてがんばりたいと決意新たにしています。

心より、よろしくお願いします。

中野あきと

「何よりも、市民生活」で全力を尽くします！
～中野あきとの政策の柱～

- ●ごみ広域化・大型焼却施設計画をやめさせます。
- ●これ以上の負担増許さず、国保税を引き下げます。
- ●公立保育園の廃止計画許さず、認可保育園の増設 に よる 待機児解消をすすめます。
- ●特養ホームの増設、認知症高齢者や生活援助型サービスへの支援を拡充します。
- ●南平5丁目地域など交通不便地域への公共交通の導入。ミニバス南平路線や平山循環路線、旭が丘路線の増便、市立病院などへの延長をすすめます。
- ●中学3年までの少人数学級の実現、特別支援教育のさらなる充実をすすめます。

《２０１４年　2月の無料法律相談》
市役所６階　共産党控室　午後１時～３時
2月　13日（木）
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せ下さい。